



とちぎ

PTA 新聞

とちぎPTA新聞213号
栃木県PTA連合会
〒320-0066 宇都宮市駒生 1-1-6
栃木県教育会館内
TEL 028 (622) 2833
FAX 028 (622) 2834

—213号—



- ◆日本PTA全国協議会年次表彰式
- ◆地区情報交換会
- ◆日本PTA全国協議会 三行詩コンクール
内閣府特命担当大臣賞受賞
- ◆特色あるPTA活動プロジェクト×田原西小PTA
「田西っ子漢字力UPプロジェクト！」
- ◆家庭教育アンケート結果から見える子どもたちの今
- ◆会長総括・令和8年度 栃木県PTA連合会 主な事業

日本PTA全国協議会年次表彰式



令和7年12月2日（火）日本PTA全国協議会年次表彰式が、文部科学大臣代理の塩見総合教育政策局長等の出席を得て国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールで開催され、PTAの振興及び発展に寄与された団体と多年にわたり活動に貢献された個人に対し各賞が送られました。

本県からは次の団体と個人の方が表彰されました。
栄えある受賞、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。



令和7年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 会長表彰

- ・ 栃木市PTA連合会



令和7年度 公益社団法人日本PTA全国協議会 会長表彰

- ・ 揚石 哲司 氏（前栃木県PTA連合会会長）
- ・ 黒澤 亨 氏（前栃木県PTA連合会副会長）
- ・ 日下田 勇 氏（前栃木県PTA連合会教育課題委員長）
- ・ 石川 晴美 氏（前栃木県PTA連合会監事）



日下田氏 揚石氏 栃木市PTA連合会 会長 鈴木氏
栃木市PTA連合会 事務局長 大類氏

長年にわたり子どもたちと学校を支え続けてこられた皆様のご功績に、心より敬意を表します。

栃木県PTA教育振興会からお知らせ

PTA教育振興会は、「PTA活動補償制度」の取扱いをしている団体です
補償となるPTA行事例

傷害補償

- ・ PTA主催のソフトボール大会のための公式練習中に転倒して足首を捻挫
- ・ PTA主催の除草作業活動中に蜂に刺される
- ・ PTA共催の運動会準備中、テントを設営中に指を挟んで負傷

賠償補償

- ・ PTA主催で除草作業活動中、誤って刈払機で石がはねて教室の窓ガラスを破損

提供飲食物危険補償

- ・ PTA主催のバザーで一般客に弁当を提供し、15名が食中毒になり2～7日間入院

法律相談・ クレーム対応費用

- ・ PTA行事で近隣住民より騒音のクレームを受け、その後も嫌がらせ行為が続いているため弁護士に相談

栃木県PTA活動補償制度は、単位PTA（学校）ごとの全員加入になります
令和8年4月1日から補償開始とするため、3月2日までの加入申込手続きをお願いします

※詳細・ご不明な点等ございましたら下記までお問合せください

<問合せ先>

栃木県PTA教育振興会
取扱代理店 株式会社 栃木保険

TEL 028-622-2839
TEL 028-643-6611

地区情報交換会

塩谷南那須地区 令和8年1月16日 さくら市喜連川公民館にて開催

役員の成り手不足と各市町Pの実状

塩谷南那須地区情報交換会では、地域の教育課題やPTA活動の現状について、参加者同士が活発な意見交換を行いました。

中心テーマは「役員成り手不足」であり、各市町Pの実状が共有されました。共同代表制の導入や専門部の廃止による活動の簡素化、アンケートによる意向把握など、各校が抱える課題とその工夫が紹介されました。



役員経験の意義と今後の方向性

参加者からは、役員を経験したことで学校運営への理解が深まり、地域とのつながりが強まったという声が多く聞かれました。役員を担うことは単なる義務ではなく、子どもたちの成長を支える貴重な機会であり、大人が自ら社会に関わり貢献する姿を見せることは、子どもたちにとっても大きな学びとなることが再確認されました。

PTA活動の在り方を見直し、関わり方の多様性を認め合うことで、より多くの保護者が前向きに参加できる環境づくりを進めることと、役員がやりがいを感じ、楽しく活動できる雰囲気を作ることができれば、役員負担の解消にも繋がるのではないかという意見も出されました。今後、栃木県PTA連合会としては、各校の成功事例を共有しながら、持続可能な支援体制の構築を目指していきます。

副会長 井上直樹

河内・上都賀地区 令和8年2月9日 教育会館にて開催

地域特性に応じた安全対策と運営の課題共有

上三川・宇都宮からの発表では、昨今の様々な実状から、登校班未加入児童の増加や交通事故などを受け、それぞれの地域特性に応じた安全対策の必要性が共有されました。車社会の中で従来の仕組みが十分に機能しているのかを見直す声が上がリ、危険箇所の把握や送迎ルールの明文化など具体策について意見が出ました。

また、各地区の共通事項として、PTA運営において人数規模の影響もあり、負担不足や短期ローテーションによる引き継ぎの難しさ、予算制約などの課題も浮き彫りになりました。PTAへの関心低下も懸念される中、分担の工夫と持続可能な体制づくりが急務というお話がありました。



PTAを核に、地域とともに未来を描く

日光市からは令和2年から始まった「スマホルール宣言」の取り組みが紹介されました。親子で目標を設定し、一定期間実践した成果を応募・共有する仕組みで、単位PTAや市P連が段階的に関わる好事例です。目標設定から習慣化、結果の可視化までを伴うこの取り組みは、保護者と子どもが主体的に参加できるモデルとして他地域からも注目されていました。前述した、活動への負担不足解消や継続制の意味合いからも、このように主体的に参加しやすい仕組みづくりや対面を軸とした信頼関係の構築、事務局負担の低減など、運営の再設計についても議論されました。

コミュニティスクール推進の中で、私達、保護者の参画は欠かせません。学校と地域がつながり、子どもたちの未来をともに支える為にも、PTAの役割が重要であると考えます。今回の情報交換会も、その原点を改めて確認する大変意義深い機会となりました。

副会長 揚石達也

「わたしのおうえんだん」 全国へ響く三行詩

矢板市立乙畑小学校 3 年生 ^{きづき} ^{さら} 木附沙羅さん

内閣府特命担当大臣賞を受賞

がんばって きっとできるよ

だいじょうぶ

かぞくはみんなわたしのおうえんだん

「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」をテーマとして日本PTA全国協議会が毎年実施している「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩コンクールにおいて、矢板市立乙畑小学校3年生の木附沙羅さんが、栄えある内閣府特命担当大臣賞を受賞されました。沙羅さんの作品は、まっすぐな言葉で家族の温もりを表現。家族みんなの応援が伝わる素敵な詩が高く評価されました。



「矢板市立乙畑小学校3年生 木附沙羅さん」

にも	て		し	み	か	明		い	私
も	も	こ	た	ん	ら	る	こ	賞	は
立	ら	れ		な	で	さ	の	を	今
て	う	か		に	さ	し	詩	を	回
る	ば	ら		も	さ	さ	を	い	の
人	か	は		感	し	を	つ	た	三
に	り	は		じ	さ	く	く	だ	行
な	り	今		て	を	周	っ	だ	詩
り	た	ま		ほ	一	り	た	き	コ
た	い	の		し	緒	の	の	も	ン
い	思	よ		い	に	人	は	お	ク
い	い	う		い	に	に	家	ど	ル
ま	も	う		い	る	に	族	ろ	で
す	こ	え		も	と	に	の	い	す
。	め	ん		こ	き	に	は	て	ば
	め	し		め	の	伝	げ	い	ら
	ま	ん		ま	安	え	ま	ま	う
	し	し		ま	心	た	し	す	し
	側	し		ま	感	か	や	。	
	ト				を	っ			

〈木附沙羅さん コメント〉

特色あるPTA活動プロジェクト × 田原西小PTA 「田西っ子漢字力UPプロジェクト！」

漢

家族でチャレンジ🔥漢字検定

検

栃木県PTA連合会は、県内の特色あるPTA活動を応援しています。今回は、宇都宮市立田原西小学校PTAが主催する「日本漢字能力検定（漢検）」の実施について、紹介します。

令和8年1月31日、田原西小学校で行われた「家族で漢検」。地域の中学生や住民も交え、親子で漢字に挑戦する恒例行事を取材してきました。まずは準備の様子をご覧ください。



(左)ランチルームを会場に。机・椅子を整えるPTAの皆さん。



会場内の漢字が書かれた掲示物には、漢検実施に伴い覆いをかけました。



イベントの背景と魅力

「家族で漢検」は、約10年間続く取り組みです。PTA担当者は「漢字はスポーツや芸術と違い、特別な経験がなくても取り組みやすく、努力が成果につながりやすい。学習の入り口として最適です」「学校で受験できることや、家族で目標を共有できる点も魅力です」と話します。

今回は約30名が参加。小学生に加え中学生や地域住民も集まりました。「初めてで緊張したが思ったより書けた」「練習すればできるとわかり自信になった」といった声も聞かれます。

保護者が子どもとともに学習する姿もあり、受験をきっかけに親子で机に向かう時間が生まれているようです。

参加者全員には田原西小マスコットキャラクター付きのノートや受験記念鉛筆を配布。不合格の場合でも「挑戦を讃える」表彰状を送る配慮を行っており、参加者の意欲につながっているとのこと。



受付の様子



静かな熱気に包まれた会場内



参加記念ノベルティ



笑顔で受け取る児童たち

自校開催に込めた思い

田原西小学校では、例年1月に漢字検定の準会場として自校開催を行っています。子どもたちの漢字力向上に加え、1年間の学習成果を発揮できる機会とすること、また本会場が遠く受験が難しい家庭が多いことが理由です。

今回は「特色あるPTA活動プロジェクト」に応募し、在校生に加え、家族や卒業生、地域の方々へと対象を拡大しました。補助金を活用し、カラー申込書の作成や参加者全員へのノベルティ配布など、新たな取り組みも実施しました。

その結果、在校生数が減少する中でも受験者数は例年を大きく上回り、近年最多となりました。

今後も自校開催の強みを生かし、子どもたちの漢字力向上と地域とのつながりを大切にしていきます。

宇都宮市立田原西小学校 PTA会長 森田加奈子

家庭教育アンケート結果から見える子どもたちの今

22, 065件の回答から見える傾向

教育課題委員会では、家庭教育に関する全24問のアンケートを実施し、22, 065件の回答が寄せられた。設問は「不登校」「学習状況」「電子機器事情」「性教育」「LGBT教育」の5つのカテゴリーに整理され、子どもたちの生活と学びを多角的に捉える内容となった。

特に電子機器事情では、利用時間やSNSトラブル、いじめを含む問題が、不登校や学習状況とも関わりを持っている様子が見えてきた。生活面・学習面・社会面で大きな変化が見られるのは中学生以降であるが、睡眠時間の減少やスマートフォン所持の低年齢化の傾向から、その兆しは小学校高学年頃から始まっている可能性も感じられる。

「守る」視点と、家庭での対話の重要性

SNSトラブルや性被害等については、「何か起きてから」ではなく「起きる前」に目を向ける視点の重要性が浮かび上がった。

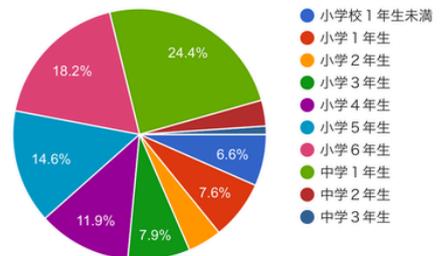
また、不登校についても、進学時の環境変化やコミュニティ形成の難しさが背景にあることが推察され、早期の気づきと周囲の理解の大切さを改めて感じさせる内容であった。

一方、性教育・LGBT教育については、家庭内で一定の会話は行われているものの、その具体的な内容までは見えにくい現状も明らかになった。学校で行われている内容を初めて知った保護者も多く、世代間の認識差も浮き彫りとなった。

今回のアンケートから見えてきたのは、子どもたちが学校で何を学び、どのような環境で過ごしているのかについて、保護者が関心を持ち、対話を重ねていくことの重要性である。

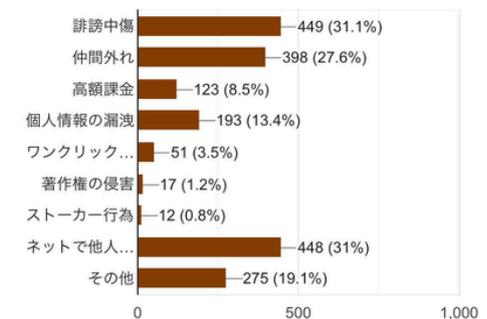
Q12. 携帯電話・スマートフォンをお持ちと回答された方は、何年生の時からお使いですか？

11,267件の回答



Q15. 巻き込まれた・巻き込まれそうになったと回答された方は、具体的にはどのようなトラブルですか？（複数回答可）

1,443件の回答



栃木県PTA連合会 保障制度のご案内 (子ども総合保険)

適用される割引率は約38%(*)です。

24時間電話健康相談・セカンドオピニオン・アレンジサービス等が利用可能



※割引率について：ご案内している保険商品の算出基準である保険料（加入者数20名未満の団体における保険料）に対しての割合を示します。
適用される割引率は前年度の加入者数、過去の損害率等に応じて決定します。次年度以降、割引率が変更となる場合がありますので予めご了承ください。

栃木県PTA連合会保障制度

お問い合わせ先
制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社
宇都宮支店
宇都宮市松が峰1-3-15
AIG宇都宮ビル2階
電話：028-346-4100
9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)
担当：多胡

取扱代理店・扱者
株式会社 栃木保険
宇都宮市栄町6-15 赤羽ハイツ1F
電話：028-643-6611
9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始除く)
担当：川村・駒野

募集

学校から8月上旬に制度案内の封筒が配布されます。オンラインでもお申込みいただけます。

主な補償

- ①子どものケガや病気の24時間補償
- ②日常生活での「個人賠償責任補償」

「学校から貸与された学習端末」については、学校外での破損・紛失・盗難にあった場合の法律上の損害賠償責任を補償します。

令和6年度は、県下全体で1年間の保険金支払い件数が2,137件になり、1日に約5.9件の割合となっております。

◆令和6年度 主な事故例と保険金支払い◆

- ◇体育の授業中、跳び箱から転落し右足を骨折。通院 275,000円
- ◇野球の練習中、バッティング練習をしていて左肩を脱臼。入院・手術 119,000円
- ◇自転車で登校中に転倒し、左足首を捻挫。通院 86,000円
- ◇自転車走行中に路地から出てきた歩行者と接触し、ケガを負う。個人賠償 43,000円
- ◇学校から貸与されているタブレットを自宅内で持ち運び中に落とし破損。個人賠償 28,000円
- ◇出かけた先でお店の備品を倒してしまい破損する。個人賠償 387,000円

上記は保険金支払い例です。制度の詳細につきましては取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

会長総括 福田 治久 会長



激動の時代におけるPTAの存在意義

令和7年度末を迎えるにあたりまして、まずは会員の皆様には、多大なるご支援とご協力を賜りましたことに、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨今の教育環境を取り巻く変化は、まさに激動の時代と言っても過言ではなく、そうした中において、我々PTAが果たすべき役割というもの、ますます重要性を増していると、強く感じております。つきましては、次年度の事業計画を策定するにあたりまして、「子どもたちの笑顔のために」を活動の原点とし、また一方で、保護者の皆様の負担軽減という課題についても、同時に向き合いながら令和のPTAを創造して参ります。

負担を減らすということが活動を止めるということではなく、むしろ活動を効率化することで、より本質的な学びと交流を深めていく、前向きな改革こそが必要となります。

地域とつながり、発信力を高める挑戦

また、本県PTA連合会が推進しております広報活動につきましても、情報発信のあり方を再考する時期に来ており、さらには地域社会との連携をいかに強固なものにしていくかという点についても、今後ますます議論を深めていかなければなりません。なお、ここで言う連携とは、単なる協力関係にとどまらず、お互いの顔が見える、温かい関係性の構築を目指すものであります。そして、広報紙コンクールや講習会を通じて、単位PTAの皆様の活動がより輝くような、そんなバックアップ体制を構築していくことこそが、栃木県PTA連合会としての使命であると、改めて強く認識しているところでございます。

すべては愛する子どもたちのために

子どもたちは地域の宝であり、国の宝です。この宝を守り育むことは、私たち大人たちの責務であり、大きな喜びでもあります。

今後も、皆様と共に手を取り合い、一步ずつ着実に歩みを進めてまいりたいと考えております。その歩みの先にこそ、子どもたちの輝かしい未来が待っていると確信しています。

すべては愛する子どもたちのために。共に歩む皆様のために、私たちは繋がり続けます。

令和8年度 栃木県PTA連合会 主な事業

- ◆ 広報紙コンクール事業（現在募集中 締切3月25日まで）
- ◆ 三行詩コンクール募集
- ◆ 広報紙編集講習会 ペーパー版・WEB版
- ◆ 県P定期総会 6/7教育会館大ホール
- ◆ 子育てセミナー2026 11/8教育会館大ホール

※ 日程・内容詳細は、後日ホームページに掲載するとともに各小中学校をとおしてご連絡いたします。

栃木県PTA活動補償制度

PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険

栃木県PTA活動補償制度は、PTA行事参加中の万一のおケガや賠償責任に備え、安心してPTA行事に専念していただくための制度です。

制度の詳細につきましては、学校に配布されている「栃木県PTA活動補償制度の手引き」をご確認いただくか、引受保険会社にお問い合わせください。

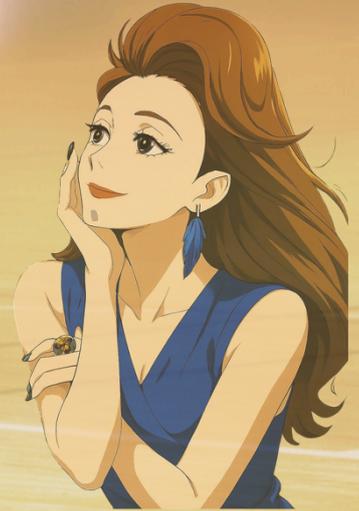
制度引受保険会社
AIG損害保険株式会社
宇都宮支店

宇都宮市松が峰1-3-15 2F
電話：028-346-4100
受付時間 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

D-008014 (2026-11)



「前進することは、問いつづけること。」



「ありのまま、あなたらしく。」



「やっぱ、好きやねん。」



「叫んでもいい。
また、元に戻ればいい。」

一年間、とちぎPTA新聞をお手に取っていただきありがとうございました。

情報発信委員会